

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

テルミサルタン錠 20mg 「DSEP」、テルミサルタン錠 40mg 「DSEP」、
テルミサルタン錠 80mg 「DSEP」

一般名： テルミサルタン (Telmisartan)	販売名	テルミサルタン錠 20mg 「DSEP」	テルミサルタン錠 40mg 「DSEP」	テルミサルタン錠 80mg 「DSEP」
	形状（製剤 写真等）			

1.どんな薬

- この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。[血圧降下剤]

2.この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
 - ・過去にテルミサルタン錠「DSEP」に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・胆汁の分泌が極めて悪い人
 - ・肝臓に重い障害がある人
 - ・アリスキレンフマル酸塩を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・両側性腎動脈狭窄のある人または片腎で腎動脈狭窄のある人
 - ・高カリウム血症のある人
 - ・脳血管に障害がある人
 - ・嚴重な減塩治療中の人
 - ・腎臓に重い障害がある人
 - ・血液透析中の人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・授乳中の人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
体が重くて動きたくない感じがする、吐き気、吐く、食欲がない、熱が出る、お腹の上のほう痛い、目の白い部分が黄色っぽくなる、皮ふが黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、疲れやすい、力が入らない	肝炎等の重い肝障害

- **自転車運転等**：失神、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高い所の作業や自動車の運転等の危険を伴う機械を操作する場合は、十分に注意してください。
- 手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいることを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- この薬を使用中に妊娠が判明した場合や妊娠が疑われる場合（月経遅延、つわり症状、基礎体温を測定している場合は高温期の持続）は、速やかに医師に相談してください。
- 妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- この薬の使用前及び使用中も定期的に医師や薬剤師が妊娠していないことを確認します。
- **高齢の人**：血圧が下がりすぎると体にとってよくありません。脳梗塞等がおこるおそれがあるため、十分に注意してください。

4.ほかに知られている副作用

「3.この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的好くみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
すぐ眠ってしまう	眠気
頭が痛い	頭痛
せき	咳

5.保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6.問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：第一三共エスファ株式会社（<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>）

電話：お客様相談室 0120-100-601、受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>